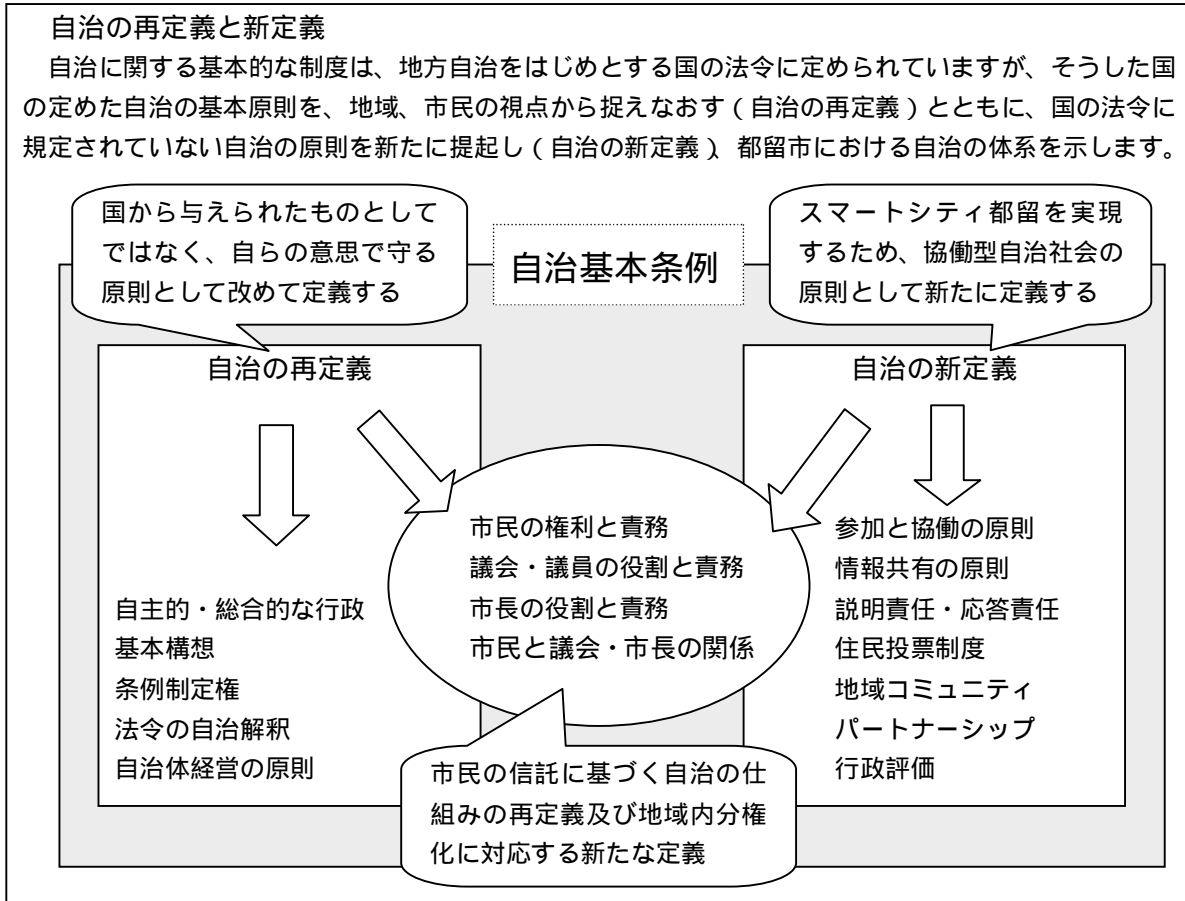


自治基本条例Q & A

【?】 自治基本条例でどのようなことを定めるの・・・？

自治基本条例制定の流れはまだ新しく、自治体によって内容は少しずつ違いますが、市・市議会・市民の皆さんの関係や役割、参加のための仕組み、自治体運営の最高規範としての位置付けなどが共通して規定されています。

都留市では、こうした自治基本条例の基本構造に加え、都留市の特性を踏まえた自治のあり方を条例の中に盛り込んでいくことを目指しています。



【用語解説：「スマートシティ」とは】

「スマート」の意味：「スマート」は、「身なりが整って粋なさま」、「気の利いたさま」をいうほか、「賢い」、あるいは、「洗練された」という意味を持っています。また、英語の語源には「痛み」を意味する用法もあります。

「スマートグロース」：米国の都市開発の潮流においては、都市の無秩序な拡大を抑制し、持続可能で、人と人とのふれあいのあるまちづくりを目指した取り組みをスマートグロース（賢い成長）と称しています。そのコンセプトにおける健全な都市のあり方は、経済的活力に満ち、良質な環境が保全され、コミュニティが快適で暮らしやすいまちとされています。

「スマートシティ」：「スマートグロース」のコンセプトは、本市が目指すべき地域社会像として掲げている「個性輝く創造社会」、「持続可能な定常社会」、「互恵・共生社会」に相通じるものがあることから、これら3つの社会像を総称するキーワードとして「スマートシティ」と命名しました。

「スマート」であるためには、キラリと光る個性を發揮すると同時に、自立のための「痛み」も覚悟しなければなりません。

「スマートシティ」とは、弛まぬ行財政改革の断行をしながら、量的な成長から質的な向上への転換を目指す都市を目指す言葉と考えています。

【?】 自治基本条例と基本構想の関係は・・・？

自治基本条例も基本構想も、いずれも議会の議決を経て定められる市の基本理念です。基本構想は都留市が目指すべき将来像を示すものであり、基本計画をはじめとする総合計画を規律する最上位の基本方針であるのに対し、自治基本条例は市政運営の最高規範として、基本構想が示す将来像を実現するための仕組みや制度を定めるものです。

スマートシティ都留の実現

基本構想の策定について、地方自治法では「議会の議決を経て」との規定にとどまっています。自治基本条例の中に基本構想の策定過程における市民参加の原則を盛り込むことにより、市民の皆さんの信託を受けた市長・市議会と自治の主役である市民の皆さんとの総意に基づく市政の最高理念としての基本構想を改めて位置付け、自治体としての政策主体性を示します。また、そうした仕組みを明記することにより、首長の交替に影響されない市政運営の基本原則として位置付けます。

